

平成 30 年 8 月 7 日

【件名】

強盗被害の発生に関する注意喚起

【本文】

在留邦人の皆様へ

8月3日（金）午後7：00頃、マプト市内の邦人宅で強盗事件が発生しました。被害者は、住居内に侵入した5～6名の強盗団により、頭部を凶器で強打された後、銃を発砲され足を負傷し、現金やパソコン、携帯電話などの貴重品が強奪されました。

当国では、外国人というだけでターゲットになり、凶悪な手段を用いて強盗を行うケースも多発しています。外出先だけでなく、自宅においても安心することなく、帰宅時や就寝時には必ず施錠状態を確認するとともに、来訪者が来た際は不用意に扉は開けず、ドアスコープ等から来訪者を確認したあと解錠するなど、細心の注意を払うよう心掛け、自己防衛に努めてください。

【事件概要】

- 1 3日（金）午後7時頃、被害者が自宅のリビングでくつろいでいたところ、突然5～6名の男が住居内に侵入してきた。
- 2 被害者はすぐに危険を察知したが、同時にハンマーのような凶器で頭部を強打され、銃で足を打たれた後、2人の男に両腕を掴まれ、抵抗できないよう拘束された。
- 3 被害者は拘束された状態で、住居内の貴重品等の保管場所を案内させられ、男達に現金やパソコン、デジタルカメラ等を奪われた。
- 4 住居内の物色が一通り終わると、男達は被害者を引き連れ、隣りの住居へ移動し、隣りの住人に対しても銃を発砲（空砲）して抵抗させなくした後、テレビや携帯電話などを奪い逃走した。

以上